

113 チゴハヤブサ

(ハヤブサ目)

兵庫県ランク:C

Falco subbuteo

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:C

環境省ランク:指定なし

種の概要

北海道、本州北部では夏鳥、本州中・南西部、四国、九州、沖縄では旅鳥。兵庫県では主に4月と9-11月に記録がある。平地から山地にかけての森林、草原、農耕地などの比較的開けた場所に生息する。低空を迅速に羽ばたきと滑空を繰り返しながら直線的に飛行する。大型の昆虫類や小鳥類、コウモリ類などを捕食する。



写真提供:小坂時弘

国内分布

北海道、南千島、本州北部、本州中・南西部、佐渡、舩倉島、見島、四国、九州、対馬、男女群島、小笠原群島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島

県内分布 ()表記の市町では2002年以前に生息確認

神戸市、姫路市、(西宮市)、伊丹市、豊岡市、加古川市、(赤穂市)、(川西市)、(加西市)、淡路市、(加東市)、たつの市、(稲美町)、香美町、新温泉町



主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ね特殊ら休息環境・	局地的繁殖	希少

県内における生息状況およびその他特記事項

新規追加種。
公表されている記録は少なく、ほとんどは渡りのときに上空を通過する個体の観察記録だけである。個体数は極めて少ない。

保護上の留意点

餌となる大型の昆虫類や小鳥類などの多い森林、草原、農耕地などの保全が重要。